

令和8年2月1日

ひので
議会だより

No. 217

令和7年
第4回定例会

みらい



福は鬼の外



日の出町
ひのでちゃん

Contents

議案と結果.....	P2
一般質問 町政を問う.....	P3
議会目誌.....	P8

議 案 と 結 果

令和7年第4回日の出町議会定例会（会期：令和7年11月28日～令和7年12月12日）

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対 ―…欠席

番号	議 案 名	自	公	み	し	立	都	黎	結 果
59	日の出町農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	同 意
60	自治功労者表彰につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	—	同 意
61	日の出町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
62	日の出町議会議員及び日の出町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
63	日の出町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
64	日の出町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
65	日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
66	日の出町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
67	日の出町立学校施設の使用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
68	生涯青春の湯・ひので三ツ沢つるつる温泉センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
69	日の出町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
70	日の出町老人福祉センター設置及び管理に関する条例及び日の出町大久野健康いきいきセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
71	日の出町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
72	令和7年度日の出町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決
73	令和7年度日の出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決
74	令和7年度日の出町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決
75	令和7年度日の出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決
76	令和7年度日の出町下水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決

<議員提出議案>

○…賛成 ×…反対 ―…欠席

番号	議 案 名	自	公	み	し	立	都	黎	結 果
3	日の出町議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	—	可 決

<陳情>

○…賛成 ×…反対 退…退席 ―…欠席

番 号	陳 情 名	自	公	み	し	立	都	黎	結 果
7 陳情第2号	日の出町内の小・中学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情	×	×	×	×	×	×	—	不採択
7 陳情第3号	日の出町議会議員定数条例を変更し議員定数の改正（13名に減員）を検討する事を求める陳情書	○	○	退	○	×	○	—	採 択
7 陳情第4号	萩原隆旦議員に対する議員辞職勧告決議の根拠となる情報を適切に町民へ知らせることを求める陳情書	○	○	○	○	○	○	—	採 択

令和7年第4回日の出町議会臨時会（会期：令和7年12月24日）

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対 ―…欠席

番号	議 案 名	自	公	み	し	立	都	黎	結 果
77	専決処分の承認を求めることについて（日の出町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	—	承 認
78	令和7年度日の出町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決

7 陳情第 4 号

「萩原隆旦議員に対する議員辞職勧告決議の根拠となる情報を適切に町民へ知らせることを求める陳情書」が採択

趣旨

日の出町議会基本条例の第7条、第8条、第9条に基づき、町民が萩原隆旦議員に対して「議員としての適当/不適当」を判断する上で必要となる正確かつ詳細な情報を収集し適切な手段で知らせること（全員協議会の公開、町民懇談会の実施、議会広報での公表など）、またその際、公正を期すために萩原議員の主張も公平に扱うこと、を求める。

審議結果

議会運営委員会で審査し、12月12日（金）の本会議により、採択されました。
よって、議員辞職勧告決議について、萩原議員を含む、議員間で協議した全員協議会の記録を公開します。

閲覧期間

令和8年2月1日から5年間

閲覧場所

日の出町役場 3階
議会事務局 窓口

時間

8:30～17:15（土・日・祝日除く）
年末年始除く

<各会派の名称と所属議員>

会 派 名	略号	所属議員（★印…会派代表者）	
自 民 蒼 政 ク ラ ブ	自	★木住野 智行・濱中 映慈・平野 隆史・川脇 敏徳・濱中 直樹・玉井 大・野崎 智経	7人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2人

会 派 名	略号	所属議員（★印…会派代表者）	
レ モ ン の 会	レ	★大澤 弘子	1人
み ど り の 会	み	★萩原 隆旦	1人
立 憲 民 主 党	立	★下向 辰法	1人
都 民 フ ァ ー ス ト の 会	都	★鈴木 正彦	1人
黎 明 会	黎	★塙 康平	1人

一般質問 町政を問う 要旨

（町長）

A

Q 50周年事業の今後について

日の出町合併70周年・町制施行50周年事業の今後について

未来に向けて持続可能なまちづくりが必要。この町に誇りを持ち、町民一人一人

（教員）

A

Q

教員の働き方改革は学校だけではできないと考えるが

保護者や地域、または日の出町の教育に関わる全ての方々の理解と協力を得て、連携していく事が不可欠と考えている。

（審議）

A

Q

教員の成り手不足に対する東京都独自の施策は、

年齢が25歳以上で民間企業での勤務経験が2年以上。教員免許がなくても受験できる社会人特例選考が設けられた。

（審議）

A

Q

課題は「読解力の不足」と考え、教員の指導力向上が必要。

学校教育の充実に向けて



鈴木 正彦



ひのでふるさと大使として活躍が期待される「安藤なつ」さん

（課長）

A

Q

風評被害における来町者減少の対策は。

クマ対策を引き続き行いつつ町の魅力発信を行うことで来町者の増加につなげていきたい。

（課長）

A

Q

「ふるさと大使」展開の今後について。

設置要綱に基づき、町のイメージアップを図るための宣伝活動、町が実施する各種行事への参加その他町長が必要と認める活動と規定している。



嘉倉 たくし

治 おさむ



公教育再生と総合的教育環境整備の充実に関して

Q 近年、子どもたちの学力低下が指摘されている。背景には家庭と学校の余裕のなさなど双方の教育力低下が考えられるが改善策と基本方針は。

A 学校が自ら使命を全うする自己完結型の学校作りだけでなく、家庭や地域との連携協働型の学校作りで開かれた学校として子どもの学びや成長を推進している。学力低下に関して東京都の平均より低いとのことだが具体的な方策は。

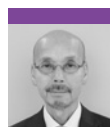
Q 学校の児童生徒の課題は読解力の不足と捉えている。読解力を高めるためには、情報を正確に読み取り、必要な情報を抽出する活動や他者に説明する授業を行うなど、教員の指導力向上が何より必要と考える。また、放課後に学校の教室を利用し、地域人材を活用した学

習教室「地域未来塾」を実施している学校もある。「地域未来塾」を近隣の教職を目指す大学生を活用しては。

A 素晴らしい提案であると思う。地域に住んでいる大学生等の人材を活用して、学校の子どもたちを支えていくことは、教育ビジョン2023の理念にもつながる。学力低下の原因としてSNS依存症が挙げられる。保護者、子どもたちへの注意喚起は。

Q 「学校SNSルール」を活用し、学校と家庭の連携による情報モラル教育を推進している。

A 素晴らしい提案であると思う。地域に住んでいる大学生等の人材を活用して、学校の子どもたちを支えていくことは、教育ビジョン2023の理念にもつながる。学力低下の原因としてSNS依存症が挙げられる。保護者、子どもたちへの注意喚起は。



しもむかい たつのり
下向 辰法



公文書の取り扱いについて

Q 文書管理システム導入の目的と具体的な目標や期待される効果について。

A 導入については、業務の効率化、正確な情報の保存を目的とし、情報へのアクセス性の向上、迅速な公開手続き、厳格な保存体制の構築が期待される。

Q 公文書管理に関連する法令遵守について。

A 法令遵守については「公文書管理法第34条」で規定されている。この法令の趣旨に基づき、文書管理システムの導入に併せて日の出町文書管理規程の改正を行い、文書管理システム導入により文書の管理、アクセス権限設定による情報漏洩防止、保存期間の自動管理による適正な廃棄・保存、操作ログの記録による説明責任の確保といった機能が実現し、法令遵守体制の強化が図られている。

公文書の保存について

Q システムにおけるアクセス権限の設定と情報漏洩防止対策について。

A 職員一人ひとりに対して、システムへアクセスするためのIDとパスワードを付与し、文書管理システムへのアクセスを制限し職員の個人認証を強化、特定の文書への不正操作や漏洩を防止している。行政文書を適切に管理するため、LGWAN環境下で文書管理システムを運用している。(LGWANとは、地方公共団体専用の閉域型情報ネットワークで高度なセキュリティ対策が施されている)





はぎわら たかあき
萩原 隆旦



学校教育改革について

Q 総合教育会議の開催方針は。

(町長) A 令和5年度及び6年度は各2回開催した。必要の都度開催する方針だが年1回は必ず開催する。次回は令和8年2月を予定。

Q 教育改革の総括について。

(教員) A 保護者や地域の理解と協力を得ながら学校の責任と役割を確実に果たす取り組みを進めている。いじめや不登校などの今日的課題は社会問題と捉えられるものもあり、社会総がかりで「日の出町教育ビジョン2023」に基づく連携協働の学校づくりを進める。

Q 大久野中のコミュニティ・スクール事業の状況は。

(室長) A これまで2回の運営協議会を開催し、学校経営における基本方針等を共有した。

Q 大久野中以外への対象校拡大方針は。

(室長) A 基本理念や活動の方向性などについて保護者や地域

の理解を得て、校内体制が整った学校から、順次指定し、拡充を図る。

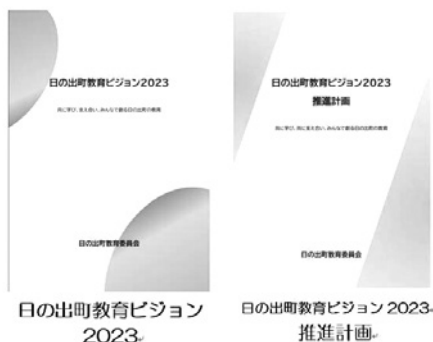
Q 中学校部活動地域移行の進捗状況は。

(室長) A 令和6年度から協議会(注)を立ち上げ、取り組みを推進している。現在、平井中バスケットボール部に外部指導員として学生2名が携わるなど、亜細亜大学との連携策を試行している。

Q 児童数減少への対応策は。

(課長) A 学校規模の適正化や施設一体型小中一貫校の検討などは不可避だが、地域特性や施策の将来展望など多面的に検討する。

(注) 正式名称は「日の出町立中学校部活動の地域連携及び地域移行に関する協議会」



なわい きよこ
縄井 貴代子



人生100年時代あなたの『困った』に寄り添うまちへ

Q 発達障害が顕在化しやすい5歳児健診の検討は。

(所長) A 必要性は認識している。医師会へ相談し実施体制整備などについて検討していきたい。

Q 町の職員採用試験へ就職氷河期世代の採用枠は。

(課長) A 若千名の採用のため特定の年齢枠に応募を集中するのは難しい。

Q 「公立阿伎留医療センター」に、町民目線での病院の在り方・体制整備は。

(課長) A 構成市町村と緊密に連携し、町民の皆さまの視点に立った病院の在り方・体制整備に継続して取り組む。

Q 单身世帯が増加している社会情勢に合わせ、町営住宅に单身世帯枠を整えるべきと考えるか。

(主幹) A 需要の有無、住宅の適正な規模と個数等を検討し、公平に応募できる環境に努め

る。

Q 町の地域包括ケアシステムの課題は。

(課長) A 「関係機関の連携強化」「専門人材の確保・育成」「地域支え合い体制の充実」が挙げられる。

Q 身寄りのない高齢者等へ、尊厳を守るための生前の意思確認の体制強化は。

(課長) A 尊厳を守る上で重要なのは、ご本人の意思の可視化。医療行為を希望する事前の話し合いを行うACP(人生会議)や、エンディングノート

の作成は、その人らしい最期を迎えることに繋がれると考える。





野崎 智経



獣害対策(クマ)について

Q 「ツキノワグマ防除対策事業に関する委託」の活用は。

A 11の対策のうち、猟友会見回り、除草、スプレーや鈴、クラッカー購入等に約400万円を都から受託。

Q 「東京でクマが出る町」と報道され、移住・定住促進や、町のブランドに影響する可能性があるか。

A 目撃情報は町HPやLINE等で発信。積極的なメディア対応は控え、都・警察・猟友会・近隣自治体と連携し最優先で対策。

町内小中学校における英語教育や異文化交流について

Q 町の取り組みは。

A コミュニケーションを重視、児童が積極的に英語を使い異文化に触れる機会を広げている。

Q 異文化交流体験事業の実施状況は。

A 各校で行われ、ネイティブ人材と授業や給食を共にする



東京都で狩猟免許取得者が増加している

る活動や、ALT(外国語指導助手)派遣やオンライン交流もあり、児童は課題を感じつつ学習意欲を高めている。

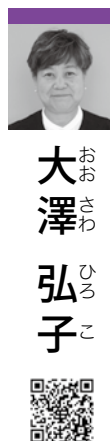
Q AI時代の展望は。

A 生成AIやオンライン活用が進む一方、リアルな交流での感情や一体感も大切である。「不易と流行」を踏まえ、英語を楽しみ生活や将来と結びつけ、成果を分かち合う教育活動を発展させる。

近年の猛暑による農業への影響と町の暑熱対策について

Q 資材への支援制度は。

A 東京農業を魅力ある産業に育成することを目的とした「東京農業経営強化事業」がある。認定農業者、認定新規農業者などが、補助対象となる。



大澤 弘子



(仮称)日の出町総合文化体育センター基本計画について

Q 計画されてから8年が経過しているが、進捗は。

A 建設予定地について、コロナ禍等があったことから協議が中断している。策定中の第六次日の出町長期総合計画・前期基本計画(素案)等により設置推進を掲げている。

Q 立地について、安全性や誰でも利用しやすい利便性が求められると考えられるが、その点はどうか。

A 現在に至るまで他の候補地を検討した経緯はなく、(仮称)日の出町総合文化体育センターの設置は町民の悲願であることも踏まえて慎重に協議を進めていく考えである。

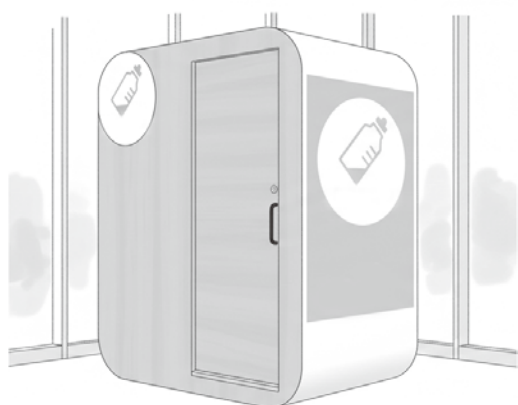
Q 学校プールの運用方法についての影響は。

A プールの構想は計画されていないが、今後総合的に判断して改めて検討していく

必要があると考えている。
3C(子供、長寿、居場所区市町村包括補助事業)補助金について

Q 現在までの活用状況は。

A 完全個室のベビーケアルームを役場庁舎、保健センター、教育センターに設置したほか、「こそだち広場」の運営経費や電子母子健康手帳「日の出町おやこ手帳」の導入、地域活動支援センター「ユートピアサンホーム」の建替えを行った。





ひらの
平野 隆史



町内における残土の状況について

Q 玉の内地区の第2・3・4工区の現場で、9月議会以後の状況と各現場の問題解決に向けた動きについて。

（課長）A 現場代理人と多摩環境事務所との協議は継続中だが、是正工事に必要な排水確保や土砂流出防止、斜面形成を含む造成計画図は未提出。10月8日の協議で概要と素案図面が示されたが、記載不足や説明の不明瞭さから再提出となった。第4工区の進捗は確認されておらず、町は早期解決を求め要請書提出を検討している。

Q 長井地区の太陽光発電施設の現場で、9月議会以後の状況と、造成区域に隣接する道水路と隣接民有地の土砂撤去のための是正工事の進捗状況は。

（課長）A 事業主に対し、文書による回答を求めた。9月30日に回答があり、是正工事の遅延の理由は地盤の確認・施工方法・工事資金の確保等が要因と記載されている。こうした状況を踏まえ、町は太陽光発電工事に関する法的疑義と対応状況について、10月15日付で多摩環境事務所に質問書を提出し、11月21日に回答を受け取った。回答によると、許可区域外に土砂が堆積していたことは把握しており、事業者に対して安全対策と搬出調整を促していたとのこと。今後、町は必要に応じて事業主への是正要請や、国や警察、弁護士との連携を進め、住民の安全確保と環境保全のために、速やかな是正措置を講じていく。



延の理由は地盤の確認・施工方法・工事資金の確保等が要因と記載されている。こうした状況を踏まえ、町は太陽光発電工事に関する法的疑義と対応状況について、10月15日付で多摩環境事務所に質問書を提出し、11月21日に回答を受け取った。回答によると、許可区域外に土砂が堆積していたことは把握しており、事業者に対して安全対策と搬出調整を促していたとのこと。今後、町は必要に応じて事業主への是正要請や、国や警察、弁護士との連携を進め、住民の安全確保と環境保全のために、速やかな是正措置を講じていく。



はまなか
濱中 直樹



西多摩在宅安心サポート・災害医療について

Q 西多摩在宅安心サポート事業内容は。

（課長）A 夜間・休日に主治医と連絡が取れない場合でも、訪問看護師が登録医師へ直接相談できる仕組みで、在宅療養者と家族の不安軽減を図る事業。

Q その成果は。

（課長）A 令和6年度の西多摩在宅安心サポート事業を含む訪問看護により、不要不急の救急要請を83件回避し、救急の抑制効果を上げた。

Q 在宅医療を取り巻く現状と課題は。

（課長）A 西多摩地域は高齢化が特に早く、在宅医療需要は既に高水準で今後も増加が見込まれる。一方、医師や診療所の不足、訪問看護体制の地域偏在が課題で、8市町村が連携した面的支援体制の構築が不可欠。

Q 町として在宅医療にどう対応



はまなか
濱中 直樹



（副課長）A 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、都の新たな支援制度の下、8市町村が連携し、在宅療養体制の強化に向けて、引き続き主体的に取り組む。

Q 災害時医療体制は。

（課長）A 町は医療班を編成し、医療救護活動拠点を設置、超急性期は緊急医療救護所に人員を派遣する計画。

Q 災害時、計画通りの医療体制は実行できるか。

（副課長）A 発災直後から24時間体制で2拠点を計画どおり運営することは容易ではない。地域防災計画を基本とし、災害規模等に応じて、災害対策本部指揮の下、柔軟に運用を見直すことが重要。迅速な初動対応が可能な体制づくりに努める。



議 会 日 誌

議員会視察

令和7年11月18日（火）空調の設置状況を見るため大久野中学校体育館・町民の癒しの場となっているつつる温泉へ視察を実施しました。



3月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/15	16	17	18	19	20 議会運営委員会	21
22	23	24	25	26	27 本会議 (議案審議)	28
3/1	2	3 本会議 (一般質問)	4	5	6 総務 まちづくり 常任委員会	7
8	9 厚生文教 常任委員会	10	11 予算決算 常任委員会 (当初予算)	12	13 予算決算 常任委員会 (予備日) 議会運営 委員会	14
15	16	17 本会議 (議案審議)	18	19	20	21

会議日程は、変更となる場合があります

請願・陳情は！

3月の定例会では、2月13日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

平成28年9月20日より、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱が制定されました。

- 件名は、おおむね50字以内、趣旨、及び理由は合わせておおむね1,500字以内としてください。
- 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時にご来庁願います。）
- その他、詳しいことは議会ホームページの、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱または議会事務局まで問い合わせください。

次回の一般選挙から議員定数が14人から13人へ変わります。

令和7年12月12日（金）に開催された第4回定例会最終日に議員提出議案第3号として上程した、議員定数を14人から13人に改正する「日の出町議会議員定数条例の一部を改正する条例」が可決されました。

超少子高齢化や人口減少、時代の変化に伴い、議会としても変化に対応できるよう議員間で協議を重ねてきました。協議の結果、議会の権能を高め効率的な議会運営と適正な議員定数を示す必要があると判断し、このような結果に至りました。

議員定数の改正は、次回の一般選挙から適用となります。

編集後記

新年を迎え早1ヶ月。春の訪れが待ち遠しくも自然豊かなこの町は四季を感じられる都内でも貴重な丁度いい田舎。今年の「二十歳を祝う会」では我々議会もコロナ禍を経て参加する事ができ、これからの日の出町を担う皆さんの晴れ姿に感動しきりでした。類に漏れず少子高齢化が進む当町においても皆で協力しあい町の活性化に励んでいきたいですね。まだもう少し寒さが続きますが皆さんにおかれましてくれぐれも体調にはご自愛くださいませ。

編集委員 鈴木 まさひこ

議会だより編集委員

野崎 智経
下向 辰法

玉井 大
大澤 弘子
(編集委員長)

鈴木 正彦
縄井 貴代子

発行 日の出町議会

編集 議会だより編集委員会

〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042 (588) 5148 (直通) FAX 042 (597) 4369

再生紙を使用しています。